

年末年始無災害運動

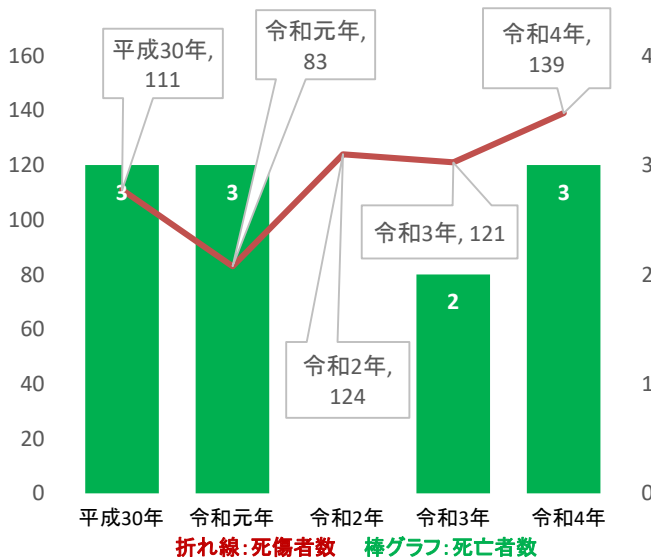
【令和4年12月1日～令和5年1月31日】

年末年始は慌ただしく、生活のリズムも変わりやすい時期です。安全で健康に一年を締めくくり、新たな年をスタートできるよう経営者、労働者が一丸となって安全衛生活動を推進しましょう。

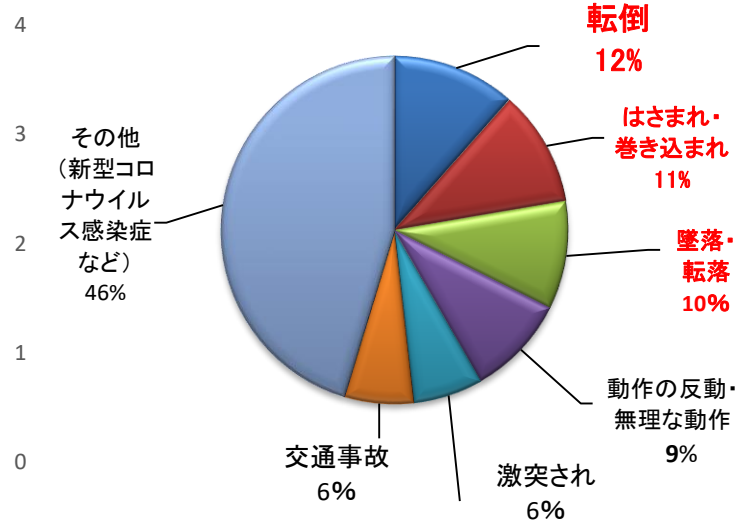
阿南労働基準監督署

- 阿南労働基準監督署管内の令和4年における休業4日以上死傷者数は139人（令和4年10月末累計）となっており、前年同期の83人と比較して56人増加しております。また、死亡者数は前年の2人に対し、本年は3人となっています。
- 令和4年の死傷者数のうち事故の型別では、新型コロナウイルス感染症へのり患による労働災害を除くと、『転倒』が最も多く発生しており、次いで『はさまれ・巻き込まれ』、『墜落・転落』となっています。
- 年末年始は、何かとあわただしく、通常作業に加え災害が発生しやすい非常作業等も増えることから、安全衛生活動を一層推進するため、年末年始無災害運動を下記により取り組みましょう。

労働災害の推移（阿南署管内）



事故の型別 労働災害による死傷者数割合（令和4年10月末累計）



- ① 経営トップの参加の下に職場の安全衛生パトロールを実施するなど、職場内における安全衛生活動の総点検を実施すること
- ② 事故の型別で多数発生している『転倒』『はさまれ・巻き込まれ』『墜落・転落』災害防止対策を徹底すること
- ③ 不安全行動による災害を防止するため、危険軽視の行動を見逃さない職場風土づくりを推進すること
- ④ 「危険予知活動」、「ヒヤリハット運動」、「ひと声かけあい運動」等の安全衛生活動を積極的に実施すること
- ⑤ 機械設備に係る一斉検査および作業前点検を実施すること
- ⑥ 年末時期の大掃除等を契機とした5Sを徹底すること
- ⑦ 年始時期の作業再開時の安全確認を徹底すること
- ⑧ 冬季特有のスリップ事故等の交通労働災害防止対策を推進すること
- ⑨ 火気の点検、確認など火気管理を徹底すること
- ⑩ 新型コロナウイルス感染症、インフルエンザ等の感染症拡大防止対策を徹底すること